

## (4) 調査4. 手術、検査、画像診断の診療行為実施場所に関する調査

図表 3-24 「調査4. 手術、検査、画像診断の診療行為実施場所に関する調査」

	N= 64	
	N	%
問1.作成・提出状況		
・ 作業は特に問題はなく期日までに提出できた	22	34%
・ 期日までに提出できたが作業が難しい箇所があった	38	59%
・ 期日通りに提出できなかった	4	6%
問2. 作業が難しかった点・問題があると感じた点		
・ 診療行為ごとに実施場所を特定するのは難しかった	40	63%
・ 要綱が分かりづらかった	5	8%
・ その他	4	6%

調査票4に関し、「作業に難しい箇所があった」「期日通り提出できなかった」という病院が65%となった。難しかった点・問題があると感じた点としては、「診療行為ごとの実施場所を特定するのが難しかった」という意見が多かった。

## 3.5.3. 診療科部門別収支計算結果の検証

各病院に診療科部門別収支計算結果を送付し、その結果が各病院の認識と一致しているかを質問した。なお、各病院の認識とは、病院でシステム等により把握されている診療科部門別収支のほか、その他の手段により把握されている診療科部門別収支、病院全体を管理する立場での経験・実感といったものまで含むこととした。

なお、回答病院の中には最終計算がほぼ問題なく終了した「分析対象病院」と、データの信頼性に疑義があり分析対象から外した「分析対象外病院」が存在する。「診療科部門別収支計算結果」に関する回答は計算結果の信頼性が前提となるため、以下3問については当該病院が「分析対象病院」である場合(40病院)の結果を記載した(「分析対象外病院」を含む回答病院全体(64病院)の結果は右列に表示した)。

まず、「入院部門の収支差額」と「外来部門の収支差額」の入院・外来の比率が病院の認識と一致するかを聞いたところ、以下の回答が得られた。

図表 3-25 入院・外来の収支差額の比率

	分析対象病院 N= 40		(全体) (N= 64)	
	N	%	N	%
・ 一致している	1	3%	(2)	(3%)
・ ほぼ一致している	29	73%	(40)	(63%)
・ 一致していない	3	8%	(7)	(11%)
・ 不明、わからない	7	18%	(12)	(19%)
・ 記載なし		0%	(3)	(5%)

分析対象病院(40病院)のうち、計算結果が病院の認識と「一致している」「ほぼ一致している」との回答が、30病院(76%)あった。この30病院のうちの18病院は病院独自の管理会計システム等により診療科部門別収支を把握している病院であり、相応の根拠